

## 取扱説明書

エア-ハイドロリックトラックジャッキ

### 株式会社 マサタ製作所

本 社 東京都あきる野市二宮東2-1-1  
〒197-0815 TEL 042-559-1113  
FAX 042-559-7334  
大阪支店 大阪府堺市堺区新町3-7 STCビル2F  
〒590-0079 TEL 072-227-5820  
FAX 072-227-5821

ATJ-200

ATJ-350

ATJ-250

ATJ-200DL-2

ATJ-20S-4

ATJ-350L



警告

製品を使用する前にこの取扱説明書を注意深く読み、よくご理解の上  
正しくご使用下さい。

この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管して下さい。

### 株式会社 マサタ製作所

取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社までご請求下さい。

お問い合わせは

販売会社名

販売会社へのお願い

この取扱説明書は、お客様に、必ずお渡し下さい。

## ご愛用の皆様へ

このたびはマサダエア－ハイドロリックトラックフォークをお買上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用して下さい。取扱説明書中の注意事項および使用方法等をよく読んでご使用頂かせんと、十分能力を発揮できないばかりか車の落下や人身事故につながりますので十分理解した上で、正しく使用して下さい。

お買上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買上げ頂きました販売会社迄お問い合わせ下さい。

なお、取扱説明書および貼付ラベル等は大切に使用して下さい。万一紛失・汚損された場合は直ちにご購入の上、正しく保管または貼付して下さい。

### 警告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用下さい。

- ▲危険**・取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
- ▲警告**・取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
- ▲注意**・取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損傷のみ発生が想定される場合。

## 8. 製品保証事項

### 1) 保証規定

取扱説明書、本体注意書に従って正常な使用状態で保証期間内（納入後6ヵ月以内）に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて修理、取替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し、二次的に発生する損失の補償および、次の場合に該当する故障は保証いたしておりません。

1. 使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠った為に発生した故障及び損傷。
2. 製品に変更（改造）を加えた場合。
3. 消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
4. 火災・地震・風水害、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
5. 指定された純正部品を使用されなかった時に起因する場合。
6. 日本国外で使用した場合。
7. 保証請求手続きが不備の場合（例：型式及び機体番号の連絡が無い場合 e t c）

なお、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然損耗する部品ならびに、消耗部品については、保証の適用は除外させていただきます。

### ▲ 注意

このジャッキは洗車仕様になっておりませんので、錆・腐食等による故障は保証いたしておりません。

### 2) 保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行なう場合は、お買い上げの販売会社まで御一報下さい。販売会社に於いて必要な手続きを実施致します。

なお、保証の要否は、大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますので御了承下さい。

このジャッキは社内検査規格に合格しています。




## 1. 使用目的

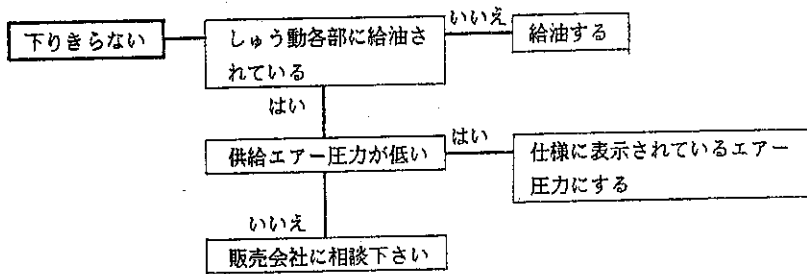
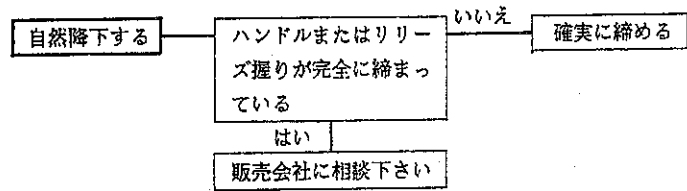
このジャッキは、エアーコンプレッサーの圧縮空気を動力源とする上昇機能を備えたジャッキで、トラック・バスのタイヤ交換および各種整備のために、車を上昇・下降させるものです。このジャッキは、ジャッキアップ状態での洗車作業には使えません。

## 2. 危険・警告事項

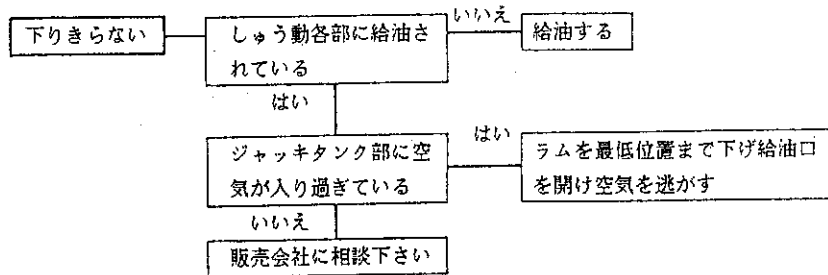
危険・警告事項や注意事項を怠りますと、車の落下や人身事故につながる恐れがありますので、必ずよく理解した上で正しくご使用下さい。

### 2-1 危険・警告事項

<b>▲ 危険</b>	
	ジャッキアップ状態で車の下での作業は厳禁 *死亡または重傷の危険があります。
<b>▲ 警告</b>	
	取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用すること *重要な警告事項が説明されています。 警告事項に従ってください。重大な事故につながります。
	操作は、操作方法を熟知した人以外は、使用禁止 *誤った操作方法が原因で思わぬ事故が発生します。



\* ATJ-20S-4の場合は



## ▲ 注意

### ○使用上の注意

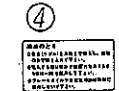
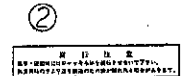
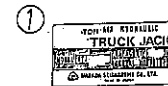
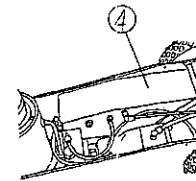
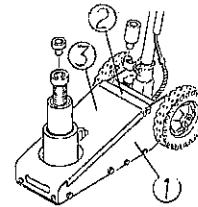
- ・使用する圧縮空気圧力は0.97MPa (9.9 kgf/cm<sup>2</sup>) 以上での使用禁止
- ・荷物や人を載せたままでの使用禁止
- ・車のエンジンをかけたままでの使用禁止
- ・車のパーキングブレーキを効かせること
- ・上昇させる反対側の前後車輪に輪止めをかけること

### ○操作上の注意

- ・アタッチメント（受金）はジャッキポイントに確実にセットすること
- ・アタッチメント（受金）の中心に負荷すること
- ・下降操作前に、ジャッキ周辺の安全を確認すること

## 2-3. ラベル貼付位置とラベルの名称

①能力・型式表示ラベル ②横転注意ラベル ③警告表示ラベル ④給油表示ラベル



## ※ 補給、交換用のジャッキオイルは

指定ジャッキオイル以外は使用しないで下さい。

指定ジャッキオイル 油圧作動油

ISO VG 10~32

### 注意

- 重粘度のオイル・ブレーキ液・揮発性のオイル及び植物性オイルは絶対に使用しないで下さい。作動不良の原因となります。
- ジャッキオイルを補給する時には、必ず、エアークプラを外してから行って下さい。

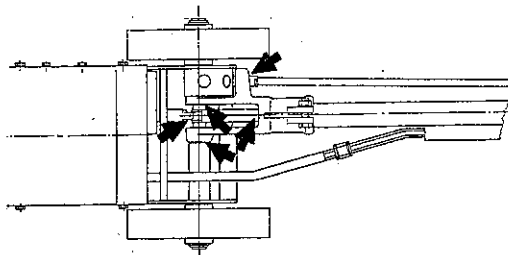
## ※可動部への給油は

潤滑油 : マシン油

グリース : スプレー式グリースを使用して下さい。

## 給油箇所

\* 2週間に一度以上 ▼ 部へは給油して下さい。



## 3. 構造および各部の名称

### 3-1. 操作ハンドルの取り付け要領

ご使用に当り、下記要領で、組立を行なって下さい

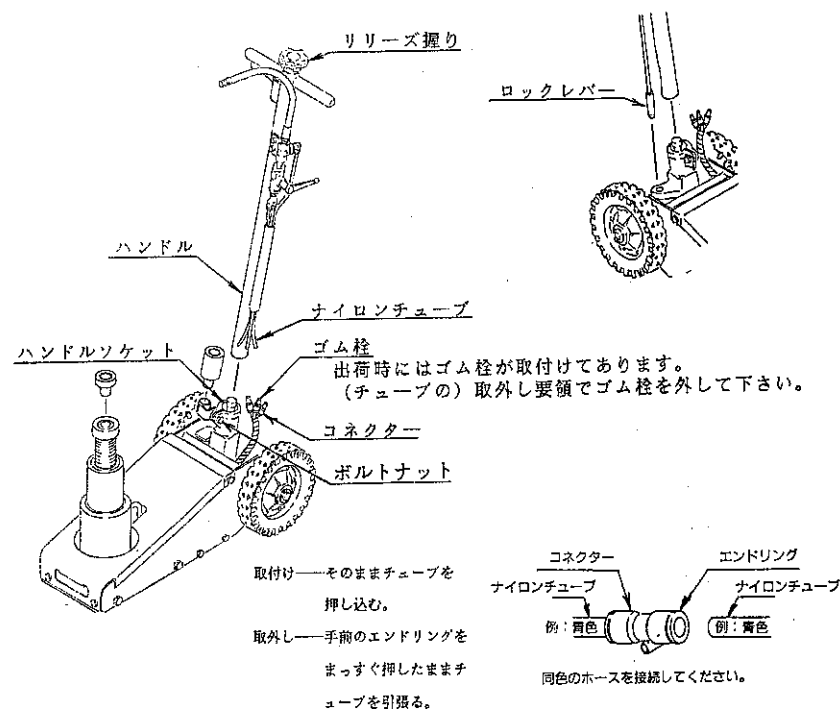
1. ハンドルを挿入する。ハンドルは、一番奥まで確実に挿入して下さい。
2. ボルトナットを締め付ける。

(呼び17のスパナまたはめがねレンチをご使用下さい)

締め付トルク 50~75N・m (500~750 kgf・cm)

(長さ20cmのスパナだと25~37.5kgの力で締め付ける事に相当します。)

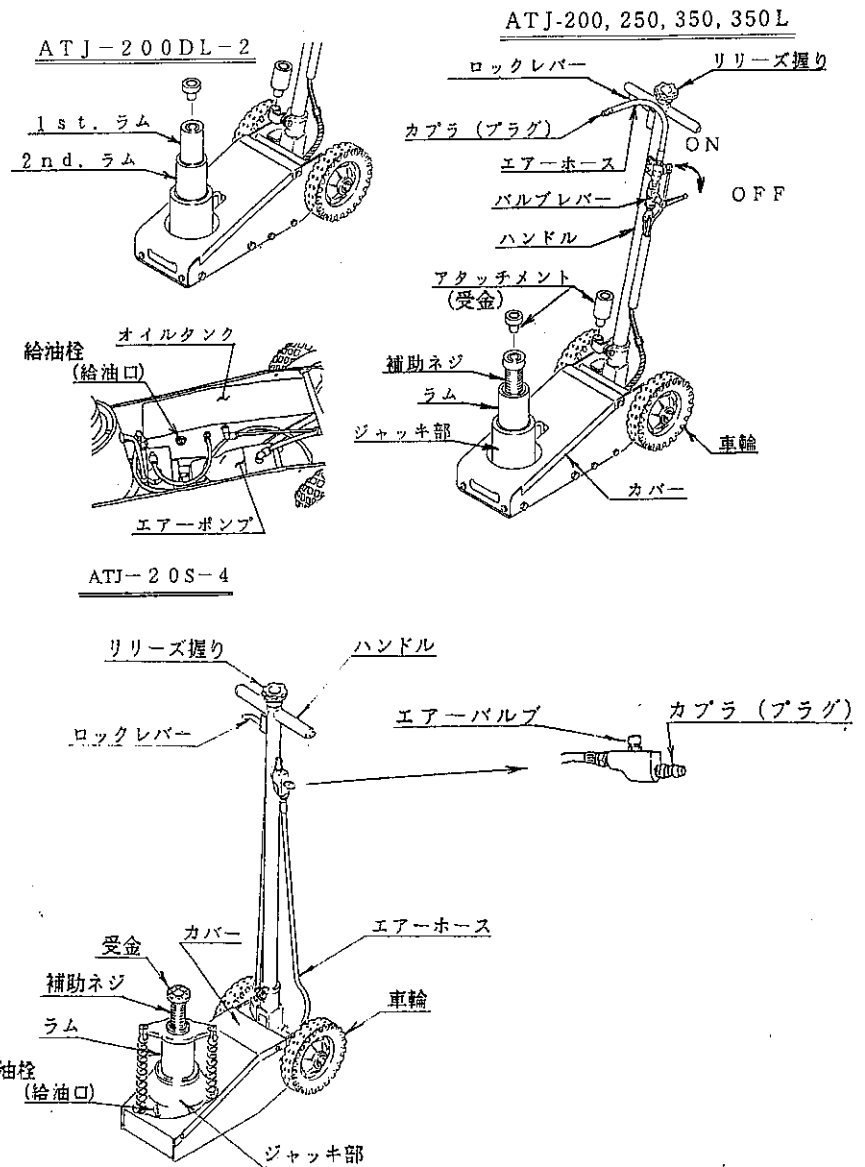
3. ハンドル側のナイロンチューブ、ジャッキ本体側のナイロンチューブはそれぞれ色分けされています。下図の要領で同色ナイロンチューブのコネクターに接続して下さい。



安全点検表

点検期間	点検箇所	点検項目	点検方法	保守要項
始業時	供給エア	○圧力は0.97MPa (9.9kgf/cm <sup>2</sup> ) 以下か。	○圧力計にて測定	○指定圧力以下にする。
		○清浄なエアか。	○フィルタを点検	○汚れ、めづまりは洗浄か交換する。
		○潤滑油が供給されているか。	○ルブリケータを点検	○潤滑油が不足時は補給する。
	アタッチメント (受金)	○外觀形状 変形、破損、摩耗していないか点検する。	○目視にて点検	○破損、著しい変形 摩耗は販売会社に相談する。
		○回転 回転はスムーズか点検する。	○回してみる	○重い場合には給油する。
	補助ネジ (頭部も含む)	○外觀形状 変形、破損、摩耗していないか点検する。	○目視にて点検	○破損、著しい変形 摩耗は販売会社に相談する。
		○外觀形状 変形、破損、摩耗していないか点検する。	○目視にて点検	○破損、著しい変形 摩耗は販売会社に相談する。
	車輪	○外觀形状 変形、破損、摩耗していないか点検する。	○目視にて点検	○破損、著しい変形 摩耗は販売会社に相談する。
		○回転しゅう動する 軸、穴部 回転はスムーズか 摩耗はないか点検する。	○車を乗せないで前後に移動させ、聴取、目視にて点検	○異音、ひっきり発生時には給油する。給油後なお異音発生時、著しい摩耗時は販売会社に相談する。
	ジャッキ部	○外觀形状 変形、破損、摩耗はないか。油モレ 異音の発生はないか点検する。	○上昇下降を行い聴取、目視にて点検	○破損、著しい変形 摩耗及び油モレ、異音発生時は販売会社に相談する。
各ネジ部 (ボルト・ナット類)	○変形、破損、緩みはないか点検する。	○目視・スパナ等にて点検	○緩みは増締めをする。 ○変形、破損は交換する。	

3-2. 構造及び各部の名称



## ▲ 危険

ジャッキアップ状態では、車の下では絶対に作業をしないで下さい。死亡または、重傷の危険があります。

車の下で作業をする場合は、必ずリジッドラックを使用して下さい。

## ▲ 注意

ラムを上昇させ、アタッチメント（受金）が車に当たった時点で一旦停止させ、アタッチメント（受金）が車の正しいジャッキポイントにセットされている事を確認して下さい。もしセットがずれていたら、一旦下降させ正しいジャッキポイントに調整して下さい。

### 3) 揚程制限

最高位に達しますと、揚程制限が働きそれ以上の上昇は致しません。

最高位に達し上昇が停止したら、ただちにバルブレバーをOFF方向に戻し、作動を停止して下さい。

## ▲ 注意

車は必要以上に上げないで下さい。必要以上に上げますとリジッドラック（馬ジャッキ）の位置決めがしづらければかりか、車の落下や人身事故につながります。

### 4-6. リジッドラック（馬ジャッキ）使用時の注意

## ▲ 注意

- リジッドラックの取扱説明書をよく読み理解してから正しくご使用下さい。
- 自動車メーカーが指定するリジッドラックポイントとし、他の部分では支持しないで下さい。
- リジッドラックは、左右高さをそろえて使用して下さい。
- リジッドラックの能力を超える車を乗せないで下さい。

## 4. 使用方法および使用上の注意

### 4-1. 使用する圧縮空気

ジャッキ作動に使用するコンプレッサーからの圧縮空気（以下エアという）について

## ▲ 注意

ジャッキ作動に使用するエアは、圧力 0.97 MPa (9.9 kgf/cm<sup>2</sup>) 以下とすること。高圧力エアを使うとジャッキ破損および重大な事故につながる危険があります。

1. エアコンプレッサーからジャッキへのエア配管は、できるだけ短かくして下さい。配管が長いとエア圧力が低下しジャッキ能力が下がります。
2. エアコンプレッサー側の配管出口には必ず空気圧用フィルター及びルブリケータを取り付け、清浄な潤滑油が供給されているエアを使用して下さい。ゴミ・水分等の混入および潤滑油不足による故障となります。

## お願い

潤滑油が供給されていないエアを使用しますとエアポンプの作動不良となります。必ず潤滑油が供給されているエアをご使用下さい。

\*ルブリケータを取り付けない場合は、カブラ（プラグ）より清浄な潤滑油（ISO VG 10～32）を、1日1回3～5cc注油して下さい。

### 4-2. 始業点検

毎日、作業前に必ず始業点検を行って下さい。なお点検はジャッキに車を乗せないで行って下さい。

## ▲ 注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行なうまでジャッキの使用を中止して直ちに販売会社に連絡して下さい。そのままお使いになるとジャッキ破損および重大な事故につながる危険があります。

(9ページの各部の名称を参照して下さい)

点検箇所	内容	点検方法
供給エア-	圧力は0.97MPa(9.9 kgf /cm <sup>2</sup> ) 以下か	圧力計にて測定
	清浄なエア-か	フィルタを点検
	潤滑油が供給されているか	ルブリケータを点検
アタッチメント (受金)	変形、破損、摩耗していないか	目視
補助ネジ・ラム	各部に変形、破損、摩耗はないか	目視
車輪	スムーズに回転するか、各部に変形、破損、摩耗はないか	目視および移動させて点検
ジャッキ部	上昇、下降を行った時、円滑に作動し、異音はないか	目視、聴取
ジャッキ部回り	油モレはないか	目視
各ネジ部 (ボルト・ナット類)	変形、破損、緩みはないか	目視、スパナ等にて点検
止リング・割ピン類	変形、破損、外れはないか	目視
エア-ホース	変形、破損、ヒビ割れ、抜けはないか	目視
バルブレバー (エア-バルブ)	変形、破損、緩みはないか	目視、スパナ等にて点検
エア-ポンプ	作動音はリズムカルか	聴取

点検方法の詳細および、保守要項については16ページの安全点検表を参照して下さい。

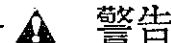
### 4-3. ジャッキを使用する床条件



**警告**

傾斜地や軟弱な場所では、使用しないで下さい。ジャッキが傾き、受金がずれ、車の落下による死亡や重傷の危険があります。必ず、平坦な堅い床で使用して下さい。

### 4-4. ジャッキポイント



**警告**

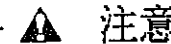
- 車を支持する場合は、自動車メーカーが指定するジャッキポイントとし、他の部分で支持しないでください。  
車の変形・荷重バランスの悪化により重大な事故につながります。
- 必ずアタッチメント(受金)の中心に荷重がかかるようジャッキポイントにセットして下さい。

### 4-5. 上昇および停止操作

(9ページの各部の名称を参照して下さい)

#### 1) 上昇操作

1. 補助ネジ頭部にアタッチメント(受金)を装着してご使用下さい。補助ネジ頭部穴がつぶれてアタッチメント(受金)が入らなくなる場合があります。  
(ATJ-20S-4はオプション部品としてアタッチメントを用意してあります)
2. 補助ネジを右に回すと補助ネジ高さは低くなり、左に回すと高くなります。  
ジャッキポイント高さに合わせて調整して下さい。
3. リリース握りを時計回りに回転が止まるまで回し、バルブレバーをON方向に引きますと、エア-ポンプが作動し、ラムが上昇します。  
(ATJ-20S-4はリリース握りを時計回りに回転が止まるまで回しエア-バルブのスイッチを押すとエア-ポンプが作動し、ラムが上昇します。)



**注意**

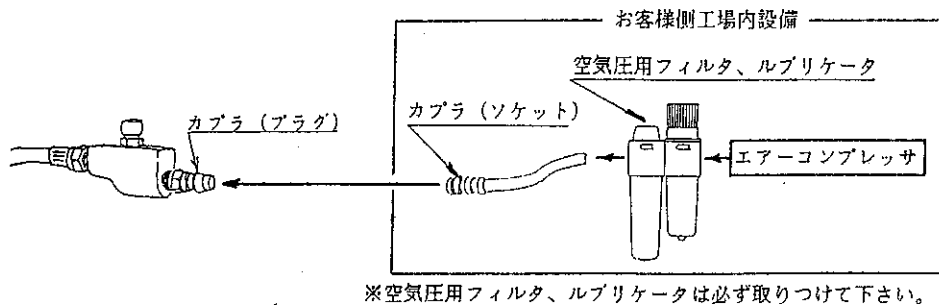
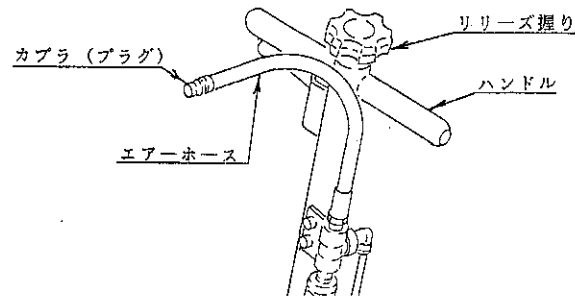
- わき見をしながらの操作は、しないで下さい。重大な事故につながります。
- ジャッキの能力以上の車輻には、ジャッキを使用しないで下さい。ジャッキの破損につながり危険です。

#### 2) 停止操作

バルブレバーをOFF方向に戻すと、ラムはその位置で上昇を停止します。  
ラムは荷重を保持したままになります。



### 3-3. エアークラについて



#### ▲注意

- カブラ (プラグ) は、日東工器株式会社製 ハイカブラ 20PH を使用しています。接続するカブラ (ソケット) は、日東工器株式会社製 ハイカブラ としてください。違うカブラを接続しますと、事故につながる危険があります。
- カブラに付着したホコリや土砂を除去してから接続して下さい。
- カブラの取扱説明書をよく読み理解してから正しくご使用下さい。

### 4-7. 下降操作

- リリース握りを反時計回りに必ずゆっくり回し、車をゆっくり下げて下さい。  
リリース握りを早く回して車を下げますと、故障の原因となります。  
車は、必ずゆっくり下げてください。
- 車のジャッキポイントより下は、エアークラ圧力で自動降下しますので、リリース握りを1~2回転までさらに回して下さい。  
※ ATJ-20S-4は車のジャッキポイントより下は、スプリング力で自動降下しますのでリリース握りを1~2回までさらに回して下さい。

#### ▲危険

車を上昇・下降させる場合に車の下、または周囲に人や物がないことを確認して下さい。重大な事故につながります。

### 4-8. 終業点検

#### 作業終了後の清掃・保管

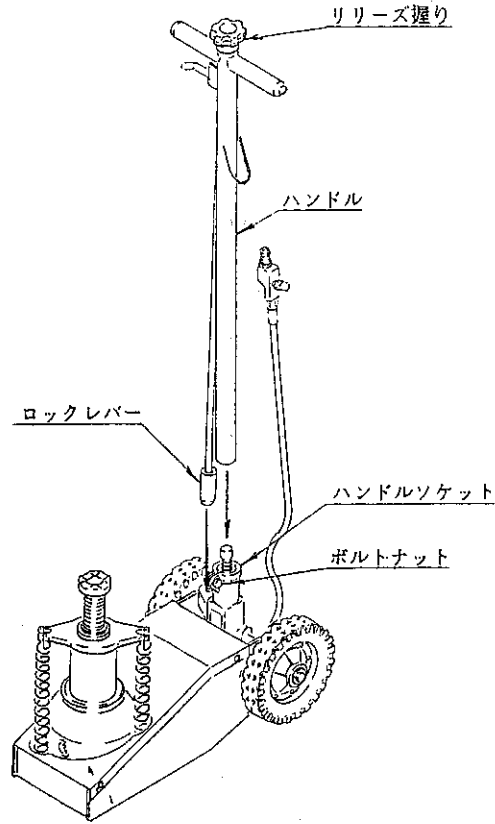
作業が終了したら受金やラム、カバー部に付着した泥、オイル、グリース等をきれいに拭き取り、ラムを最低まで下げ、屋内に保管して下さい。この時、貼付ラベルが汚れて見えなくなったり、ジャッキ本体に異常が発見された場合、直ちに販売会社に相談して下さい。

#### ▲注意

ハンドルのロック機構が付いていますので、必ずハンドルのロックの確認をし保管して下さい。また、人や車等にぶつからない場所に保管して下さい。

### 5. 定期点検

次に示す安全点検表は、ジャッキを使う日常作業を安全なものとし、また、ご使用のジャッキを末長く愛用していただくための大変重要な点検箇所を記載しています。必ず定期点検時に、また、少しでも異常と感じられた時に使用して下さい。異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行なうまでジャッキの使用を中止して直ちに販売会社に連絡して下さい。そのままお使いになるとジャッキ破損および重大な事故につながる危険があります。



- ※ ○ 取付け後、リリース握りがスムーズに回るか、ハンドルが抜けないうを確認する。
- ハンドルを2～3回上下に操作し、ナイロンチューブに外れはないか、ねじれがないか確認の上ご使用下さい。

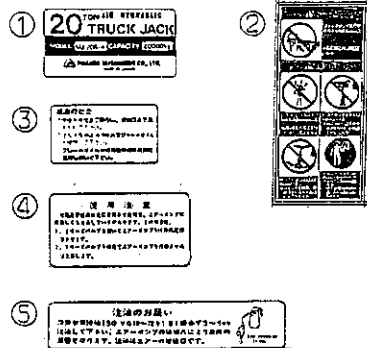
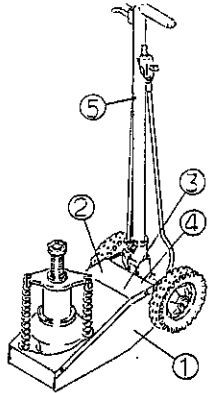
点検期間	点検箇所	点検項目	点検方法	保守要項
始業時	止メリング・割ピン類	○変形、破損、外れはないか点検する。	○目視にて点検する	○外れは組み直す。 ○変形、破損は交換する。
	エアークラス	○外觀形状 変形、破損、ヒビ割れ、緩み(抜け)はないか点検する。	○目視 触感にて点検	○破損、著しい変形ヒビ割れは販売会社に相談する。
	エアークラップ	○作動 作動音はリズムカルか点検する。	○聴取にて点検	○不規則な作動音は販売会社に相談する。
2週間	バルブレバー(エアークラップ)	○外觀形状 変形、破損、エアークラップはないか点検する。	○目視にて点検	○破損、著しい変形エアークラップは販売会社に相談する。
	ハンドル	○外觀形状 変形、破損、摩耗していないか点検する。  ○しゅう動する軸、穴部 操作はスムーズか異音の発生はないか点検する。	○目視にて点検する  ○上下操作し、聴取、目視にて点検	○破損、著しい変形摩耗は販売会社に相談する。  ○異音、ひっかかり発生時には給油する。給油後なお異音発生時には販売会社に相談する。
3ヶ月	オイルタンク	○油量の点検	○受金を最低位まで下げ、給油口まで油が入っているか点検する。	○不足時はジャッキ用オイルを補給する。
12ヶ月	オイルタンク	○ジャッキ用オイル		○交換する。

- ※ ジャッキオイルの補給は、ラムを最低位置まで下げ、オイルタンクの給油栓を外し、給油口一杯までジャッキオイルを補給して下さい。
- 補給時には、必ずエアークラップを外してから行って下さい。
- ※ ATJ-20S-4はラムを最低位置まで下げジャッキ部の給油栓を外し給油口一杯までジャッキオイルを補給して下さい。

\* ATJ-20S-4 型

①能力・型式表示ラベル ②警告表示ラベル ③給油表示ラベル ④使用注意ラベル

⑤注油ラベル

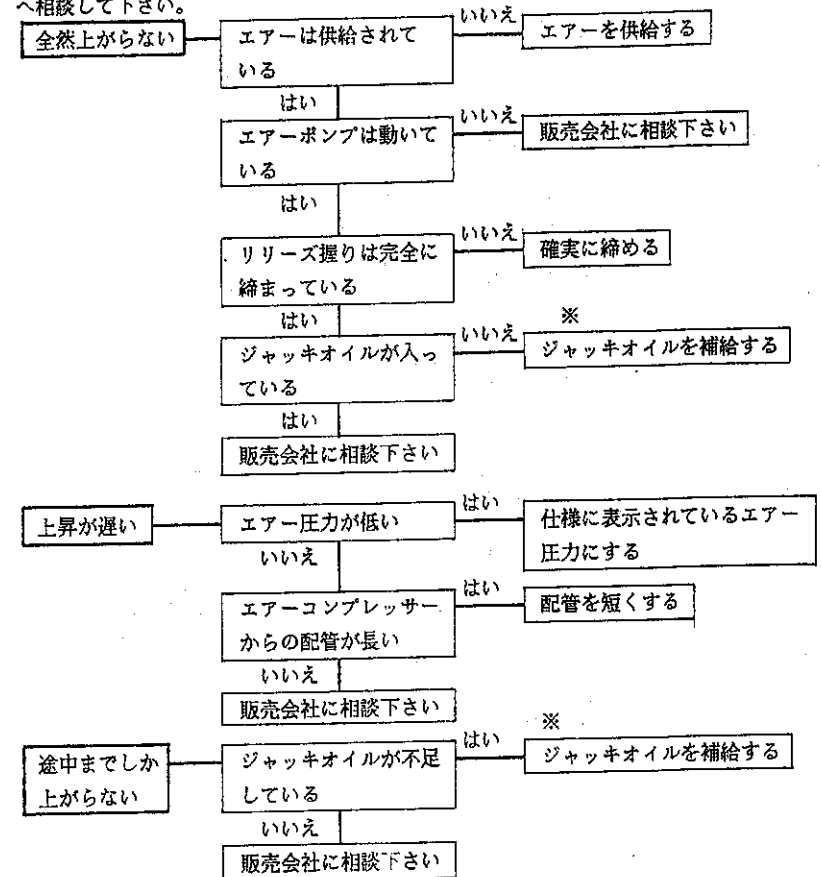


### ▲ 注意

警告ラベルは大切に使用して下さい。はがれや汚損された場合は、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。

## 6. 故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度確認して下さい。異状が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不具合な場合は、お買い上げの販売会社へ相談して下さい。



※ ジャッキオイルの補給は、ラムを最低位置まで下げ、オイルタンクの給油栓を外し、給油口一杯までジャッキオイルを補給して下さい。

補給時には、必ずエア-カブラを外してから行って下さい。

※ ATJ-20S-4 の場合は



ジャッキオイルの補給は、ラムを最低位置まで下げ、ジャッキ部の給油栓を外し、給油口一杯までジャッキオイルを補給して下さい。

補給時には、必ずエア-カブラを外してから行って下さい。

エア-抜き方法について

エア-ポンプは作動するが上がらない場合は、油圧回路内にエア-が混入している場合があります。次の要領でエア-抜きを行って下さい。

①. リリース握りを1~2回転反時計回りに回し、バルブを開き。

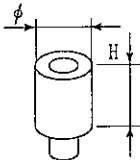
<b>▲ 警告</b>	
	<p>純正アタッチメント以外での使用禁止</p> <p>*昇降中の振動でカイモノが外れ、車の落下の危険があります。</p>
	<p>傾斜地や軟弱な場所での使用禁止</p> <p>*傾斜地や軟弱な場所で使用すると、ジャッキが傾き、受金が外れ、車の落下による重大な被害が発生します。</p>

## 2-2. 注意事項

<b>▲ 注意</b>	
○一般的な注意	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全弁には絶対にふれないこと</li> <li>・自動車整備以外での使用禁止</li> <li>・能力以上の使用禁止</li> <li>・2台以上の同時使用禁止</li> <li>・作動中のキンミ音発生時は使用禁止</li> </ul>	
○使用上の注意	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用前に始業点検をすること</li> <li>・車の下での作業時、長時間上昇させたままの時は、リジッドラックを必ず使用すること。</li> </ul>	

## 7. 仕様

( ) 内の非S I 単位は参考値です

諸 元 形 式	ATJ-200DL-2	ATJ-200	ATJ-250	ATJ-350	ATJ-350L	ATJ-20S-4
最大使用荷重 Ton	20	20	25	35	35	20
最低高さ mm	135	210	210	210	170	205
揚 程 mm	51+49	105	105	100	80	105
補助ネジ mm	—	90	90	70	50	95
最高高さ mm	243,295	420,465	420,465	395,450	315,380	405
フレーム高さ mm	170	170	170	170	170	180
全 長 mm	600	600	600	600	600	610
全 幅 mm	315	315	315	315	315	320
全 高 mm	1395	1395	1395	1395	1395	1270
作動エア圧力 Mpa	0.8~1.0	0.7~1.0	0.7~1.0	0.7~1.0	0.7~1.0	0.7~1.0
コンプレッサー KW(ps)	3.7(5)	3.7(5)	3.7(5)	3.7(5)	3.7(5)	3.7(5)
質 量 kg	44	40	43	45	43	35
付属品 (ATJ-20S-4型はオプション)						
アタッチメント						
	φ50×H8	φ50×H15	φ60×H15	φ65×H15	φ65×H15	φ50×H15
	φ50×H60	φ50×H60	φ60×H60	φ65×H70	φ65×H80	φ50×H60

# 目次

( ▲には特に重要な警告事項が記載されています。必ずお読み下さい。)

1. 使用目的	3
▲2. 危険・警告事項	3
2-1. 危険・警告事項	3
2-2. 注意事項	4
2-3. ラベル貼付位置とラベルの名称	5
3. 構造および各部の名称	7
3-1. 操作ハンドルの取り付け要領	7
3-2. 構造および各部の名称	9
3-3. エアークラについて	10
▲4. 使用方法および使用上の注意	11
4-1. 使用する圧縮空気	11
4-2. 始業点検	11
4-3. ジャッキを使用する床条件	12
4-4. ジャッキポイント	13
4-5. 上昇および停止操作	13
4-6. リジッドラック使用時の注意	14
4-7. 下降操作	15
4-8. 終業点検	15
5. 定期点検	15
6. 故障と処置	19
7. 仕様	21
8. 製品保証事項	22

\* 本製品についてご不明な点は、お買い上げ頂いた販売会社までお問い合わせして下さい。

なお、お問い合わせ頂く場合は、次の事柄をお知らせ下さい。

型式・機体番号・購入年月日・故障の場合は故障状況（できるだけ詳しく）

上記事項を下表に記録しておく、お問い合わせの際に便利です。

型 式	
機体 番号	
購入年月日	年 月 日
販売会社名	社名： 担当者：
	住所：
	TEL： FAX：
故障日 状況	年 月 日
	年 月 日

